



オンライン・シンポジウム

障がいの ある人たちと つくる 演劇の可能性 Part 6

わたしたちが知っている演劇は、もしかすると「演劇」という宇宙のほんの一部かもしれない。

2024

6.16 日 10:00~12:30

参加費無料

レクチャー、ディスカッション、参加者からの質疑応答など。手話通訳あり。

〔パネリスト〕

大久保ジャスミン

(バリ島 / 振付家・ダンサー /
キタ・ポレン (KITA POLENG) ディレクター)

松岡 大

(東京都 / 舞踏家 / NPO法人 LAND FES 代表)

〔ゲスト・パネリスト〕

佐藤拓道

(奈良県 / たんぼぼの家アートセンター HANA)

〔司会進行〕 柏木俊彦

(せんがわ劇場 演劇ディレクター、第0楽章、
日本演出者協会 社会包摂部)

近年、障がいのあるなし、年齢、国籍に関わらず、誰もが参加できるバラエティに富んだ舞台芸術の取り組みが生まれてきています。今回は「身体性」に焦点を当て、国内外でダンス・舞踏で活動されている2名をパネリストに迎え、それぞれの取り組みを映像と共にご紹介していただき、舞台芸術の可能性を探りたいと思います。ぜひお気軽にご参加下さい！



文化庁委託事業「令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業」
社会と知的障がい者施設を演劇でつなぎ地域のプラットフォームをつくる事業
主催：文化庁・一般社団法人日本演出者協会 制作：一般社団法人日本演出者協会

楽しくつながる
プロジェクト
2024